

平均正答率 (%)					国語	重点課題	算数	重点課題
	国語A 主として 知識	国語B 主として 活用	算数A 主として 知識	算数B 主として 活用	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」 <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、内容を捉える。 ○「読むこと」「書くこと」 <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて情報を読み取り、テーマや条件に即して自分の考えを的確に書く。 ・意見文を書くために二つの意見文を比べて読み、文章全体の組み立てのちがいをとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」 <ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述する。 ○「量と測定」 <ul style="list-style-type: none"> ・面積についての感覚を身につける。 ○「数量関係」 <ul style="list-style-type: none"> ・考え方が正しいかどうか何らかの考えを用いて判断し、その理由を述べる。 		
学 校	75. 8	61. 4	82. 3	62. 2				
全 国	65. 4	50. 5	72. 2	51. 6				
広島県	67. 8	53. 3	74. 3	53. 6				
尾道市	67. 7	51. 5	75. 4	53. 9				

国語	改善計画	算数	改善計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○本の内容を要約して記入する読書冊数記入表を作成し指導する。 ○国語科の授業を通して、語句や文に着目して内容を捉える指導を行う。 ○言語技術の時間を設定し、日々の授業に生かしていく。 ○目的に応じて資料からわかったことを書いたり、条件に即して書いたりする言語活動を充実していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項をもとに新しい考え方を導く学習過程を大切に指導をする。 ○実際の生活と結び付けられるような課題を大切に、活用に視点を当てた指導を行う。 ○式や言葉、図などを用いて「～だから・・・になる」という説明の仕方や書く活動の充実を図る。

生活・学習の意識の調査

改善したい点 <ul style="list-style-type: none"> ○難しい事にも失敗を恐れず挑戦する。 ○国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりする。 	今後の取組み <ul style="list-style-type: none"> ○できるだけ多くの体験をすることができるよう、学校で体験活動を設定したり家庭に呼び掛けたりする。 ○自分の考えをまとめたり書いたりする時間を確保し、発表の場を多くとる。 ○算数科の授業の中で、学習の振り返りを書く活動を充実していく。
--	--